

- 1 題材名 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう（3時間）
教材名 鑑賞「魔王」 シューベルト作曲

2 題材について

《学習指導要領との関わり》

B 鑑賞 (1) ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠

イ 次の(ア)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

〔共通事項〕 (1) ア 音色、リズム、旋律、強弱

イ 調、pp

・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形作っている要素：旋律、強弱

・取り扱う音符、休符、記号や用語：調、pp

(1) 題材観

本題材は、「魔王」の鑑賞を通して曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、歌曲のよさや美しさを味わって聴くことを目的としている。「魔王」の鑑賞を通し、詩の内容に沿って旋律の雰囲気や伴奏の形などが様々に変化していくことを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解できるようにしたい。また、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、歌曲のよさや美しさを味わって聴くことで、音楽の楽しさや奥深さを感じられるようにしたい。知覚したことと感受したこととの関わりについて考えながら音楽を聴くことで、普段生徒たちが好んで聴いている曲にもより親しみがわき、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てていきたいと考えている。

(2) 指導観

＜教材について＞

本題材で扱う「魔王」は1815年、J. W. v. ゲーテの詩に作曲されたドイツ歌曲で、F. P. シューベルトが18歳の時に作曲した作品である。語り手、父、子、魔王の4人の登場人物を1人の歌手が歌い分けるための巧みな音楽表現や、ピアノ伴奏の効果から曲想の変化を感じ取ることができ、詩の内容と音楽の特徴を関連付けてイメージを膨らませることができる楽曲である。詩から思い浮かぶイメージと音楽を形づくっている要素との関連がわかりやすく、登場人物の心情を想像しながら、曲想と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取る力を身につけることができると考えている。また、詩の内容を表現するために歌手がどのような工夫をしているか探り、表現の工夫をして歌うことのよさやすばらしさを感じることで、歌唱の表現活動にも生かせるようにしていきたい。

＜研究の視点との関わり＞

【視点1】〔共通事項〕を支えにした、9年間の学びの連続性を考えた授業づくり

①学び方の共有

○〔共通事項〕を切り口とした聴き比べをする。

本題材では、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取らせるために、聴き比べをする場面を設定する。父、子、魔王の旋律を音の高さに着目して聴き比べることで、作曲者がどのようにそれぞれの登場人物を表現しようとしたのか気付かせる。また、子どもの4回登場する旋律を聴き比べさせることで、子どもの心情の変化を感じ取らせることができるだろう。〔共通事項〕を切り口とした聴き比べの経験を重ねていくことで、音楽を聴く視点に生徒自身が気付けるようにしていきたい。

②既習を生かして学びを深める授業づくり

- 「聴き取ったこと（知覚）」と「感じ取ったこと（感受）」の関わりに気付く力を身に付けさせる。

ヴィヴァルディの「春」第1楽章の鑑賞を行った際に、音楽の特徴で聴き取ったこと（知覚）と想像した情景など感じ取ったこと（感受）を関わらせて聴く学習をしている。「魔王」の鑑賞では、聴き取らせたい部分だけを焦点化し、着目する要素を明確に提示し、その特徴から登場人物の心情を探っていく。例えば、子どもの「Mein Vater(お父さん)」という詩の4か所を抜き出し、旋律の音高の高まりによって、子どもの恐怖心が増していく様子に気付くことで「聴き取ったこと（知覚）」と「感じ取ったこと（感受）」の関わりに気付けるようにしていきたい。また、作曲者の工夫により、どのようにそれぞれの登場人物の感情や心情を表そうとしたのかについて探らせたい。

【視点2】主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

①音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

- 目指す生徒の姿を想定した発問

音楽的な見方・考え方を働かせるために、目指す生徒の姿を想定し発問を工夫していく。

「魔王」では鑑賞する際に、音楽を形づくっている要素を焦点化し、聴き取ったこと（知覚）から、感じ取ったこと（感受）へと思考を働かせるよう授業を展開していく。例えば、父、子、魔王の旋律の音高や強弱を知覚し、「シューベルトはなぜ、それぞれの役の音高や強弱を変えたのだろうか。」「強くて恐ろしいイメージの魔王が、役の中で一番弱く歌っているのはなぜだろう。」という発問をすることで、登場人物の様子や心情を音楽でどのように表現しているのか感じ取らせたい。曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って、「魔王」のよさや面白さを味わえるよう、発問を工夫していきたい。

②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ギガタブの活用

従来の鑑賞の授業では、一斉に音源を聴き授業を進めていくことが多く、受け身な活動になってしまうこともあった。しかし、現在ではGIGAスクール構想の実現により、各生徒がそれぞれの端末で活動することができる。それにより、ギガタブ上の音源を生徒が各自で確認したり、聴きたいところを自分のペースで聴き直したりすることが可能である。比較鑑賞を行う際は、着目してほしい要素を明確にし、ギガタブを用いて繰り返し鑑賞することで、より主体的に音楽と関わろうとする姿が期待できるのではないかと考えている。また、グループや全体で共有する際にも、自分たちで音源を確認することができ、対話の深まりも期待できる。

【視点3】評価の在り方

- 思考ツールの活用

思考ツールは自分の頭の中にある思いや考えを視覚的に表してくれるものであり、小学校では低学年から「くらげチャート」を活用して、「聴き取ったこと（知覚）」と「感じ取ったこと（感受）」を整理して鑑賞する学習を積み重ねている。「くらげチャート」は見た目のインパクトもあり、小学校で思考を整理する活動には有効であると考えられる。小学校での積み重ねをもとに、中学校では最終的に自分で自分の使いやすいツールを選択することができるようにしていきたい。「魔王」では、父、子、魔王の音楽的特徴（知覚）とそこから生み出される表現の効果（感受）をシンプルに視覚化して整理できる形にし、評価に活用していきたい。また、それをもとに意見交流し、他者の思考や思いを共有することを通して、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考えられるようにしたい。

3 題材の目標

- 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識及び技能)
- 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
(思考力、判断力、表現力等)
- 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

4 評価規準 ※評価略記号 知識・技能 知 技 知技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 題材の指導計画及び評価計画 (3時間扱い) (本時2/3)

時配	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ☆ [音楽を形づくっている要素 (音符、休符、記号や用語)]	○教師の働きかけ ・目指す児童 (生徒) の姿 【視点】	評価規準 (評価方法)		
			知技	思	態
	◎登場人物の旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想と音楽の特徴との関わりに関心をもつ。				
第1時	○楽曲に関心をもつ。 ・CDを聴き、曲の雰囲気や伴奏楽器など気付いたことや、感じ取ったことをワークシートに記入し、意見交流する。 ☆ [音色、リズム、旋律、強弱] ・詩の内容や4人の登場人物を1人で歌い分けていることを理解する。 ・作詞者、作曲者について知る。 ○登場人物ごとの表現の違いを聴き取る。 ・子、父、魔王の旋律の一部を聴き比べどの人物の歌声か予想する。 ・作曲者がなぜ、それぞれの旋律の音の高さを変えたのか考え、その理由を伝え合う。 ☆ [音色、旋律、強弱]	○生徒が自由に意見を述べ合える雰囲気づくりをし、楽曲への関心を高める。 ○生徒の感じ取ったことについて「どうしてそのように感じたのか」理由を問うことで、音楽の特徴を根拠に説明できるよう促す。 ○日本語の歌詞カードを用意し、言葉の意味を確認しながら、4役の様子を理解できるようにする。 【視点1】 【視点2】 ○音色、旋律、強弱などの要素からその特徴を聴き取り、どの人物を歌っているか予想させる。 ・旋律の特徴から登場人物のどのような様子を表現しているのか感じ取っている。 【視点1】 【視点2】 【視点3】	思 (記述・発言)	知 (記述・発言)	態 (観察・記述)

◎音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲想と音楽の特徴との関わりについて理解を深める。					
第2時 (本時)	<p>○「子」の旋律に着目し、どのような特徴や変化があるか聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子の旋律を聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを記入し、意見交流する。 <p>☆〔旋律、強弱〕</p> <p>○「魔王」の旋律に着目し、どのような特徴や変化があるか聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魔王の旋律を聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを記入し、意見交流する。 ・魔王の部分のピアノ伴奏にも着目し、伴奏が詩の内容や登場人物とどのように関わっているかを考える。 <p>☆〔音色、旋律、強弱、リズム〕</p> <p>○学んだことを振り返り、それぞれの役の音楽的な特徴を感じ取りながら「魔王」を通して鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父、子、魔王の旋律を音楽の特徴から聴きわけ、父（ゲー）、子（チョコキ）、魔王（パー）で意思表示しながら鑑賞する。 	<p>○子どもの心情の変化を感じ取ることができるよう、旋律（音の高低）や強弱に着目して聴くよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律や強弱の変化による効果を知覚、感受して聴いている。 <p>【視点1】【視点2】【視点3】</p> <p>○魔王の心情の変化を感じ取ることができるよう、音色、旋律、強弱に着目して聴くよう助言する。</p> <p>○伴奏のみの音源を用意し、伴奏の変化にも目を向けて鑑賞できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律や強弱の変化による効果を知覚、感受して聴いている。 <p>【視点1】【視点2】【視点3】</p> <p>○それぞれの役の音楽的特徴を板書にまとめておき、振り返りながら鑑賞できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父、子、魔王それぞれの音楽的特徴を感じ取りながら鑑賞している。 	知 (記述・発言)	思 (記述・発言・観察)	態 (観察・記述)
◎知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。					
第3時	<p>○詩の内容を表現するための歌手の工夫を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴し、4人の登場人物を歌い分ける歌手の工夫について、気づいたことや感じ取ったことを記入し、意見交流する。 ・ジェシー・ノーマン（ソプラノ）、ペーター・ケーヴェス（バリトン）の演奏を視聴する。 <p>○学習を振り返り、「魔王」の魅力を伝える紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介文を発表し合い、意見交流をする。 <p>☆〔音色、リズム、旋律、強弱〕</p>	<p>○4人の登場人物を歌い分ける工夫に気付けるよう、複数歌手の演奏を視聴させ、その違いをまとめる。</p> <p>【視点2】</p> <p>○シューベルトが「魔王」を作曲するうえで工夫した点や「魔王」の魅力について紹介文を書くよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 		思 (記述・発言・観察)	態 (観察・記述)

6 本時の指導（2／3）

（1）本時の目標

音色、リズム、旋律、強弱と登場人物の心情との関わりを感じ取って聴き、それらの働きが生み出す特質や雰囲気味わって鑑賞する。

（2）本時の展開

<p>学習内容・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素 (音符、休符、記号や用語)〕</p>	<p>○教師の働きかけ・目指す児童（生徒）の姿 ◇評価規準〈評価方法〉 【視点】</p>
<p>1 前時の学習を振り返る。 ・登場人物や詩の内容を確認する。 ・父、子、魔王の一部を聴き、誰の旋律か、どのような音楽的特徴があったか確認する。</p> <p>2 本時の目標を知る。</p>	<p>○役ごとに特徴を整理して掲示し、視覚にも訴えることで、前時の学習を想起できるようにする。</p>
<p>シューベルトは、登場人物の心情を、音楽でどのように表現しているかを探ろう</p>	
<p>3 子の旋律に着目し、どのような特徴や変化があるか聴き取る。 ・子の旋律を全体で聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを記入する。 ・記入したことを意見交流し、全体で共有する。</p> <p>☆〔旋律、強弱〕</p>	<p>○子の心情の変化を感じ取ることができるよう、旋律（音の高低）や強弱に着目して聴くよう助言する。 ・旋律や強弱の変化による効果を知覚、感受しながら興味・関心をもって聴いている。 ○全体で共有する際には、旋律の高さを手で表したり、Mein Vater（お父さん）の部分を取ったりして旋律の高さの変化を感じられるようにする。 【視点1】① 【視点2】①② 【視点3】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">聴き取ることが難しい生徒には、手を使って旋律の高さを確認したり、口ずさんだりして変化を感じ取るよう声掛けする。</p>
<p>4 魔王の旋律に着目し、どのような特徴や変化があるか聴き取る。 ・魔王の旋律をギガタブの音源で聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを記入する。 ・記入したことを意見交流し、全体で共有する。 ・魔王の部分のピアノ伴奏にも着目し、伴奏が詩の内容や登場人物とどのように関わっているかについて考える。</p> <p>☆〔音色、旋律、強弱、リズム〕</p>	<p>○魔王の心情の変化を感じ取ることができるよう、音色、旋律、強弱に着目して聴くよう助言する。 ○ギガタブには魔王の旋律のみを繰り返し聴けるように音源を用意する。 ○伴奏のみの音源を用意し、伴奏の変化にも目を向けて鑑賞できるようにする。 ・旋律や強弱の変化による効果を知覚、感受しながら興味・関心をもって聴いている。 【視点1】① 【視点2】①② 【視点3】</p>
<p>5 学んだことを振り返り、それぞれの役の音楽的な特徴を感じ取りながら「魔王」を通して鑑賞する。</p>	<p>○それぞれの役の音楽的特徴を板書にまとめておき、振り返りながら鑑賞できるようにする。 ・父、子、魔王それぞれの音楽的特徴を感じ取</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・父、子、魔王の旋律を、音楽の特徴から聴き分け、父（ゲー）、子（チョキ）、魔王（パー）で意志表示しながら鑑賞する。 <p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>りながら鑑賞している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◇父、子、魔王それぞれの役の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p style="text-align: right;">（思考・判断・表現） 〈 発言・ワークシート 〉</p> </div>
---	--